

全国首長九条の会ニュース

2021年11月29日 第30号

●発行責任者：事務局長 鹿野文永

●連絡先：〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 神田中央ビル 303 九条の会気付 ☎03-3221-5075

fax03-3221-5076 メール：sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp 口座番号 00190-4-635731 (全国首長九条の会)

総選挙後の改憲をめぐる新たな局面にあたり、「九条の会」は11月12日に声明を発表しています。全文を掲載します。合わせて12月12日に開催する、全国首長九条の会「第2回総会と市民のつどい」でお話をさせていただく、「九条の会」世話人の田中優子さんからメッセージが届きましたのでご紹介します。

総選挙後の改憲問題の新たな局面を迎えて

2021.11.12 九条の会

10月31日に衆議院議員選挙が行われ、自民党は議席を減らしたものの単独過半数を維持し自公政権の存続が決まりました。維新の会の大幅議席増により自公と維新を合わせた改憲勢力は334議席となり、衆議院の3分の2を超える議席を獲得した結果、改憲問題は、新たな局面を迎えました。

岸田文雄首相は、自民党総裁選の最中から「任期中の改憲実行」、「敵基地攻撃能力」保有の検討を繰り返し表明しました。それを受けて総選挙に向けての自民党公約も、「敵基地攻撃能力」保有、防衛力の大幅強化と並んで、「早期の憲法改正」の実現を明記していましたが、総選挙の結果を踏まえて、岸田政権は、安倍政権以来の改憲策動の強化に踏み切る構えです。

岸田政権がまず手をつけようとしているのは、安倍・菅政権が推進した9条破壊の加速化です。対中国の軍事同盟強化を目指した「国家安全保障戦略」と「防衛計画の大綱」の改定を来年末までに強行し、中国を念頭においた「敵基地攻撃能力」の保有、日米共同演習の強化、そして辺野古基地建設強行などを推し進めようとしています。

同時に、岸田自民党は、憲法9条明文の改憲にも踏み込むべく、臨時国会における憲法審査会での改憲案討議入りを狙っています。維新の会松井一郎代表の「来年参院選と同日に改憲国民投票を」という発言や国民民主党との憲法審査会毎週開催合意は、こうした自民党の明文改憲への策動を応援するものです。

しかし、日米軍事同盟強化と改憲という途は、米中の軍事対決・挑発を激化させ、日本と東北アジアの平和の実現に寄与するどころか、それを遠ざけるものです。明文改憲、9条破壊の策動を阻止しなければなりません。

9条の会をはじめとした市民の草の根からの運動は、自民党などによる改憲の企図を阻み続けてきました。とりわけ、安倍政権の下、衆参両院で改憲勢力が3分の2を占めて以降も、市民と野党の共闘の頑張り、幾次にもわたる全国統一署名運動、それに鼓舞された立憲野党の奮闘により憲法審査会での改憲案審議を行わせず、19年参院選では改憲勢力3分の2を打ち破って安倍改憲を挫折に追い込みました。来年の参院選に向けた新たな改憲の動きに待ったをかけるのも、この市民と野党の共闘の力以外にはありません。

この力に確信を持って、市民の皆さんが、改憲と9条破壊の阻止のため、決意を新たに立ち上がられることを訴えます。

全国首長九条の会

「第2回総会と市民のつどい」

■ 日 時: 2021年12月12日(日) 午後1時半から4時

■ 会 場: としま区民センター ■ 費 用: 資料代として千円(リアル、ZOOM参加者ともに)

コロナ感染対策のため市民の皆様にはZOOMでの参加をお願いします。ぜひ全国からご参加を!

ZOOMでの参加を希望される方は、以下のようにお願いします。

1. 「九条の会」事務局に、ZOOM参加の旨と下記事項をご連絡ください。メール: sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp
①名前(自治体名か団体名も)、②電話番号(携帯があれば携帯番号) ③メールアドレス
2. その後、資料代1000円をお振り込みください。
口座番号は、郵便振替口座 00190-4-635731 全国首長九条の会 です
3. 入金を確認しましたら、ZOOM参加のためのURL、パスワード、緊急連絡先などを指定されたメールアドレスにお送りします。

◆当日15分のお話をしていただける、「九条の会」世話人の田中優子さんからのメッセージです。



全国首長九条の会第2回総会と市民のつどいの開催、おめでとうございます。

江戸時代は、各藩が統治をする分権社会でした。近代日本は中央集権国家です。メリットとデメリットがありますが、日本のように多様な自然環境と伝統を持つ国では、それぞれの自治体が独自の思想と方法を持つべきだと思います。

近代は天皇を元首とする中央集権のもと、日清、日露、日中、そして太平洋戦争と、戦争の連続でした。多くの村から満洲に移民し、各地の若者が徴兵されました。国家総動員法によって学者は大学から追われ、映画その他の表現は国家の意図に従うことになりました。

同じことを繰り返さないために、自民党憲法改正草案を、私たちは知る必要があります。前文からも24条からも、その国家観が「個人」ではなく、明治に成立した「近代家族」を基盤にしていることがわかります。その頂点に「元首としての天皇」が位置づけられ、国防軍が国を守ることになっています。そういう憲法でいいのでしょうか？

これからの行政単位は、多様な「個人」を基礎にした新しいコミュニティになる必要があります。キーワードは「多様性」です。多様性に向かってどう社会を作っていくか。一緒に考えたいと思います。

「九条の会」世話人・法政大学名誉教授 田中 優子

◆東京の現職の首長さんが3人そろって、お一人8分でお話されます。

① 共同代表・武蔵野市長 松下玲子さん

② 呼びかけ人・世田谷区長 保坂展人さん

③ 呼びかけ人・あきる野市長 村木英幸さん



◆ZOOMでは、滋賀県米原市長の平尾さん、鹿児島県曾於市長の五位塚さん、沖縄県南城市長の瑞慶覧さん、そして共同代表の元長野県阿智村長の岡庭さんなどが参加されます。